

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-239590

(43)公開日 平成11年(1999)9月7日

(51)Int.Cl.⁶
A 61 G 5/02

識別記号
506
505

F I
A 61 G 5/02

506
505

審査請求 未請求 請求項の数 2 FD (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平10-57368

(22)出願日 平成10年(1998)2月24日

(71)出願人 000157533

丸石自転車株式会社
東京都千代田区鍛冶町1丁目10番4号

(72)発明者 三村 康夫

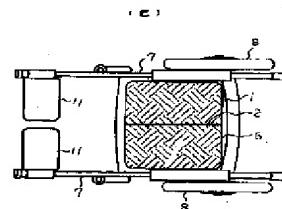
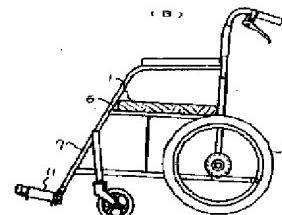
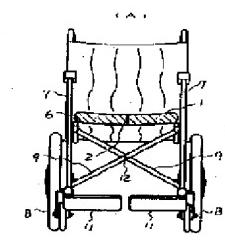
東京都足立区江北4-9-1 丸石自転車
株式会社東京工場内

(54)【発明の名称】 折り畳み自在な車椅子における座席マット

(57)【要約】

【解決手段】折り畳み自在な車椅子の座席シート6に敷設する座席マット1であって、マット1は座席シート6の折り畳み方向に沿って上縁部から下縁部にかけて切込部2を有し、切込部2の下縁部をヒンジ部3で接合し、更にマット1の両端部を座席シート6の両端部に取り付けるようにした折り畳み自在な車椅子における座席マット。

【効果】座席マット1を取り外すことなく左右のフレーム及び大車輪等の寄せ幅を狭くして車椅子を折り畠むことができるため、下肢障害者用の車椅子用の座席マットとして最適である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 折り畳み自在な車椅子の座席シートに敷設する座席マットであって、該マットは座席シートの折り畳み方向に沿って上縁部から下縁部にかけて切込部を有し、該切込部の下縁部をヒンジ部で接合し、更に上記マットの両端部を座席シートの両端部に取り付けるようにした折り畳み自在な車椅子における座席マット。

【請求項2】 マットの両端部に座席シートの両端部に対して取り外し可能な取り付け具を設けた請求項1記載の座席マット。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 この発明は、折り畳み自在な車椅子の座席シートに敷設する座席マットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 一般に、折り畳み自在な車椅子は図4に示すように、左右のフレーム7, 7間をクロスロッド9, 9で結合され、またクロスロッド9, 9の上端には座席シート6の両端部が取り付けられ、更にフレーム7, 7の両側には大車輪8, 8が設けられ、その下端部にはフットレスト11, 11が設けられている。

【0003】 そして、使用時には左右のフレーム7, 7及び大車輪8, 8等を引き離してクロスロッド9, 9を中心の枢着部12を支点として倒れて座席シート6が張設され、更にフットレスト11, 11を倒す(図4A参照)。

【0004】 折り畳み時には左右のフレーム7, 7及び大車輪8, 8等を引き寄せることにより、クロスロッド9, 9を枢着部12を支点として立ち上げると、座席シート6はV字状に折れ、更にフットレスト11, 11を立ち上げる(図4B, C参照)。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 一方、下肢障害者等が使用する車椅子においては、長時間にわたり座り切りになるため、臀部の当たりをやわらげるために、座席シート6にマット1を重ねて使用するのが普通である。

【0006】 このような車椅子は使用後は介助者或は障害者自身により畳まれるが、この場合マット1が座席シート6上にあると、マット1は可なりの厚みがあるため、これを外さないと、左右のフレーム7, 7及び大車輪8, 8間の幅を狭くして折り畳むことが不可能である。

【0007】 そこで、この発明は座席シートに取り付けたまま車椅子を折り畳むことができる座席シートを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】 この発明は上記実情に鑑み、折り畳み自在な車椅子の座席シートに敷設する座席マットであって、該マットは座席シートの折り畳み方向

に沿って上縁部から下縁部にかけて切込部を有し、該切込部の下縁部をヒンジ部で接合し、更に上記マットの両端部を座席シートの両端部に取り付けるようにした折り畳み自在な車椅子における座席マットを提案するものである。

【0009】

【作用】 即ち、この発明では上記のようなマットが座席シートの両端部に取り付けられているため、車椅子の折り畳み時にはシートの中央に手を掛けて上方に引き上げると、マットもこれに伴っては切込部が引き上げられ、この結果シート、マットは逆V字状に折り畳まれる。

【0010】 その後、左右のフレーム及び大車輪等を引き寄せて、車椅子の折り畳みを行うが、この発明では厚みのあるマットが逆V字状に折り畳まれるため、左右のフレーム及び大車輪等の引き寄せ幅を狭くして車椅子を折り畳むことができる。

【0011】 マットの両端部は座席シートの両端部に固定しても良いが、紐等の取り付け具を設け、座席シートに対して取り外し可能にしておいても良い。

【0012】 なお、従来は非使用時に座席シートより取り外したマットが嵩張り、置き場所等に苦慮したが、この発明では取り外したマットが切込部を介して二つ折にできるため、取り外す必要もなく、したがって置き場所に苦慮することもない。

【0013】

【実施例】 以下、この発明を図示の実施例に基づいて詳細に説明すると、1はこの発明に係わる折り畳み自在な車椅子の座席シートに敷設する座席マットであって、座席マット1は座席シートの折り畳み方向に沿って上縁部から下縁部にかけて切込部2が設けられる。

【0014】 この実施例では座席マット1は切込部2を境にして左右一対のマット部材1a, 1bに分割し、左右一対のマット部材1a, 1bは切込部2の下縁に設けられたヒンジ3により連結するようにしてある。

【0015】 なお、ヒンジ3は丈夫な布等の柔らかくて屈曲自在の材質で構成することが好ましく、またその両端部がマット部材1a, 1bの下縁部に相当する部分に取り付けられることが好ましい。

【0016】 マット部材1a, 1bの両端部下縁にはホルダー4, 4が設けられ、ホルダー4, 4には座席シートの両端部にマット1を取り付ける紐5, 5が取り付けられる。

【0017】 紐5はヒンジ3と同様に座席シートの両端部に、屈曲自在に取り付けられることが好ましく、この実施例ではホルダー4, 4をマット部材1a, 1bの布を延設して構成し、これに紐5, 5を固定するようにしてある。

【0018】 そして、紐5, 5は車椅子の座席シート6の両端部に縛り付けてマット1を座席シート6に固定する。

【0019】車椅子には、この他に左右のフレーム7, 7及び大車輪8, 8、左右のフレーム7, 7を結合するクロスロッド9, 9、背シート10、左右のフレーム7, 7の下端部に設けられたフットレスト11, 11がある。

【0020】以上の構成において、車椅子の使用時には左右のフレーム7, 7及び大車輪8, 8等を引き離してクロスロッド9, 9を中央の枢着部12を支点として倒すと、座席シート6が張設され、これに伴って上述のようにして座席シート6の両端部に固定されたマット1は座席シート6上に設置され、更にフットレスト11, 11を倒す(図2A参照)。

【0021】折り畳み時には左右のフレーム7, 7及び大車輪8, 8等を引き寄せることにより、クロスロッド9, 9を枢着部12を支点として立ち上げると、座席シート6はV字状に折れる。

【0022】一方、座席シート6の両端部にその両端部を固定したマット1は横方向の中央に縦方向に沿って上縁部から下縁部にかけて切込部2を有し、且つ切込部2の下縁にヒンジ3が設けられているため、上述のように座席シート6がV字状に折れると、切込部2に沿って逆V字状に折れ、更にフットレスト11, 11を立ち上げる(図2B, C参照)。

【0023】したがって、この発明ではマット1が座席シート6に重ならずに折り畳まれるので、左右のフレーム7, 7及び大車輪8, 8等の引き寄せ幅を狭くして車椅子を折り畳むことができる。

【0024】なお、この実施例ではマット1は紐5, 5で座席シート6の両端部のパイプに固定されているため、非使用時には座席シート6から取り外すことができ、また取り外したマット1は切込部2を介して二つ折れするため、場所を取らずに収納することができる。

【0025】

【発明の効果】以上要するに、この発明によれば座席マットを取り外すことなく左右のフレーム及び大車輪等の

寄せ幅を狭くして車椅子を折り畳むことができるため、下肢障害者用の車椅子用の座席マットとして最適である。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係る座席マットを取り付けた車椅子の一例を示すもので、(A)は正面図、(B)は側面図、(C)は平面図

【図2】同上の車椅子の使用状態と折り畳み状態と示すものであり、(A)は使用状態を示す図、(B)は折り畳まれる過程を示す図、(C)は折り畳まれた状態を示す図

【図3】同上の座席マットを示す図で、(A)は広げた状態の平面図、(B)は側面図、(C)は斜視図、(D)は折り畳んだ状態の斜視図、(E)は同上的一部欠切した図

【図4】従来の座席マットを使用した場合の車椅子の使用状態と折り畳み状態と示すものであり、(A)は使用状態を示す図、(B)は折り畳まれる過程を示す図、(C)は折り畳まれた状態を示す図

20 【符号の説明】

1は座席マット

1a, 1bは左右一対のマット部材

2は切込部

3はヒンジ

4はホルダー

5は紐

6は座席シート

7はフレーム

8は大車輪

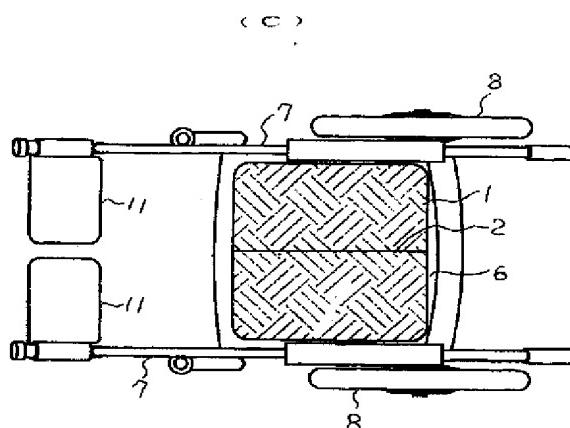
30 9はクロスロッド

10は背シート

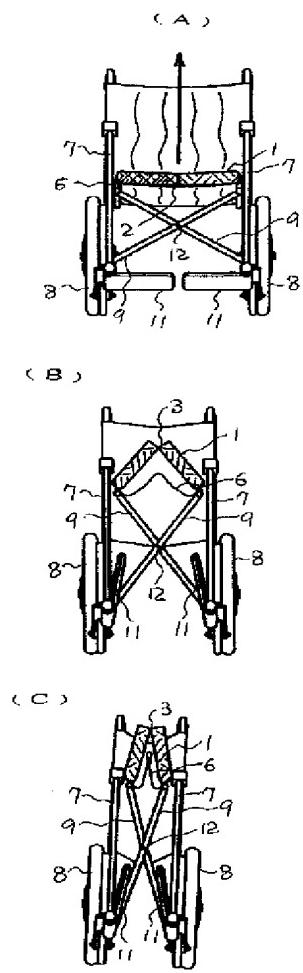
11はフットレスト

12は枢着部

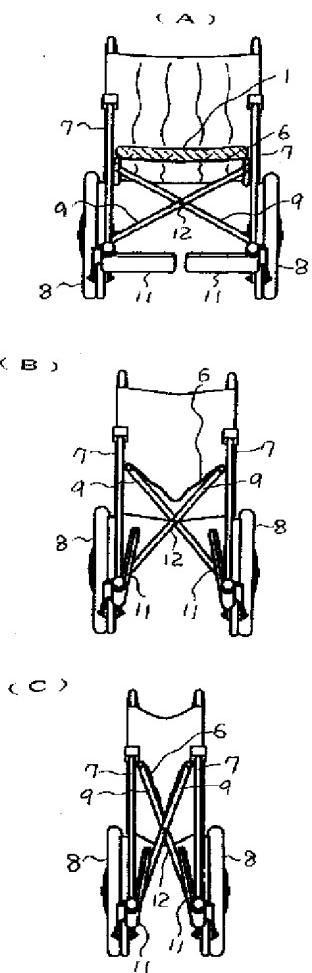
【図1】



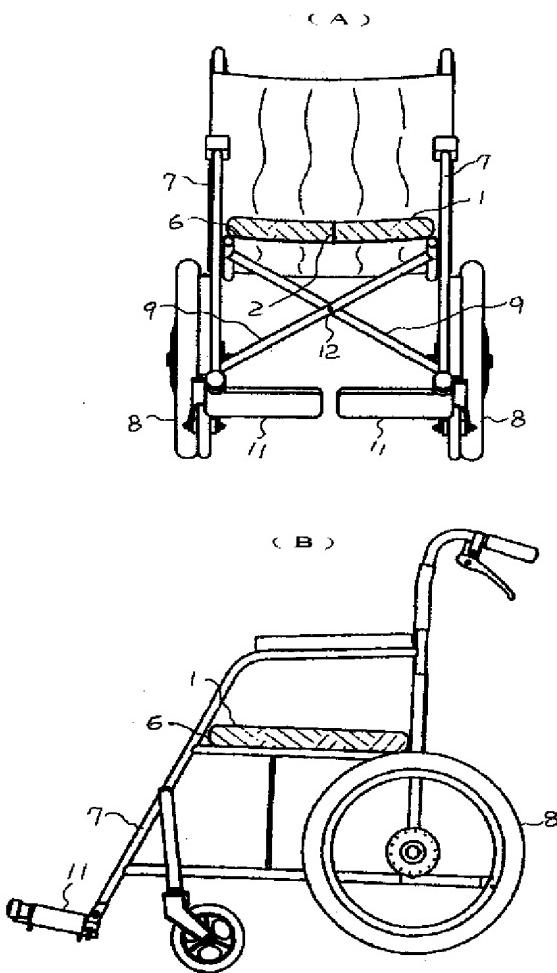
【図2】



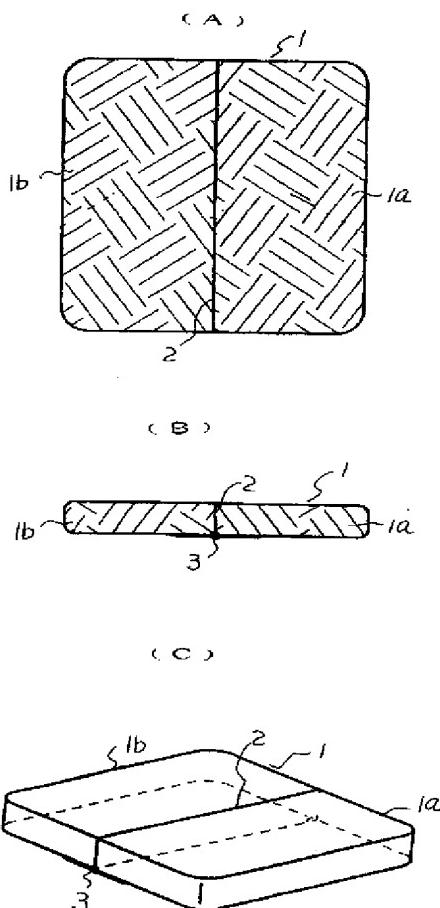
【図4】



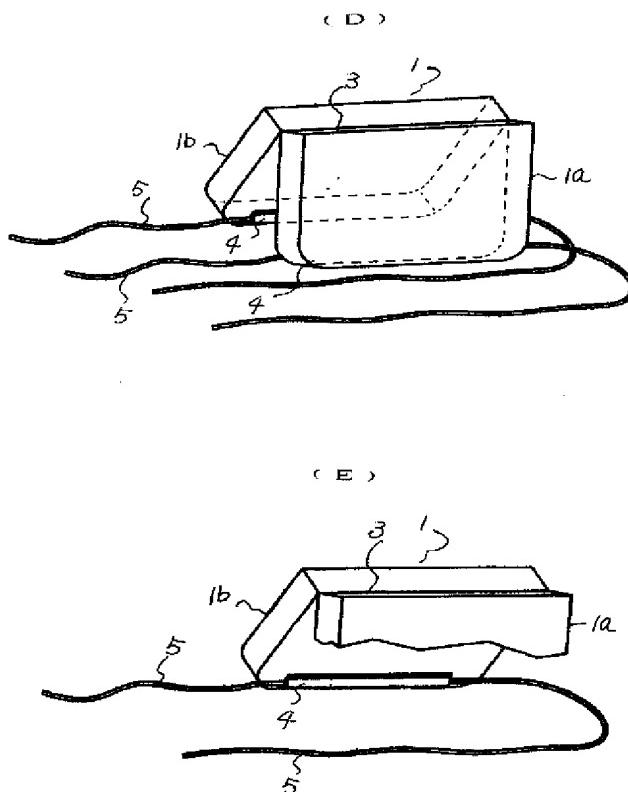
【図1】



【図3】



【図3】



【手続補正書】

【提出日】平成10年5月15日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明に係わる座席マットを取り付けた車椅子の一例を示すもので、(A)は正面図、(B)は側面図、(C)は平面図

【図2】 同上の車椅子の使用状態と折り畳み状態とを示すもので、(A)は使用状態を示す図、(B)は折り畳まれる過程を示す図、(C)は折り畳まれた状態を示す図

【図3】 同上の座席マットを示す図で、(A)は広げた状態の平面図、(B)は側面図、(C)は斜視図

【図4】 同上の座席マットを示す図で、(A)は折り畳んだ状態の斜視図、(B)は同上的一部欠切した図

【図5】 従来の座席マットを使用した場合の車椅子の使用状態と折り畳み状態を示すものであり、(A)は使用状態を示す図、(B)は折り畳まれる過程を示す図、(C)は折り畳まれた状態を示す図

【手続補正2】

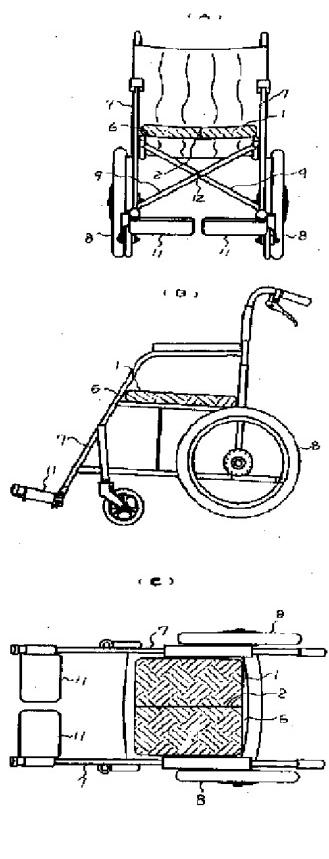
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

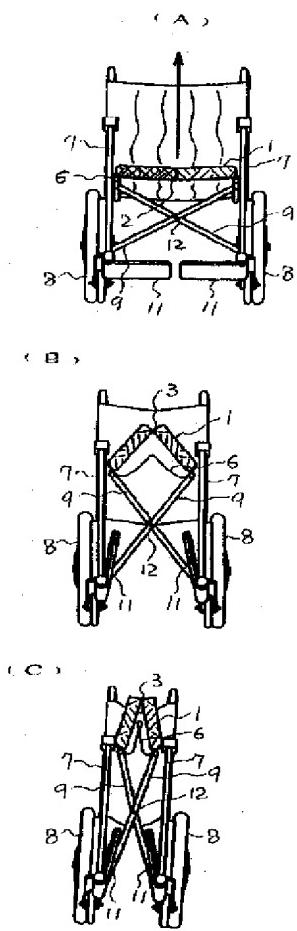
【補正方法】変更

【補正内容】

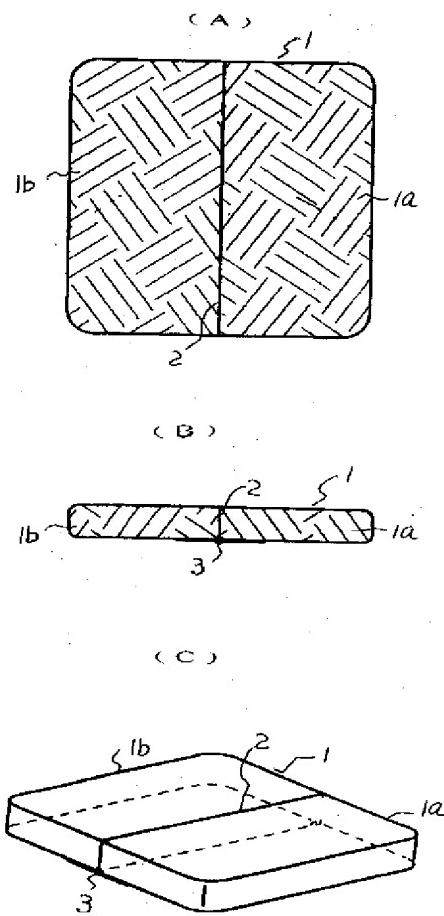
【図1】



【図2】

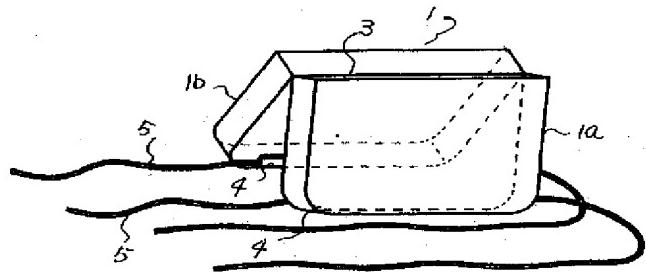


【図3】

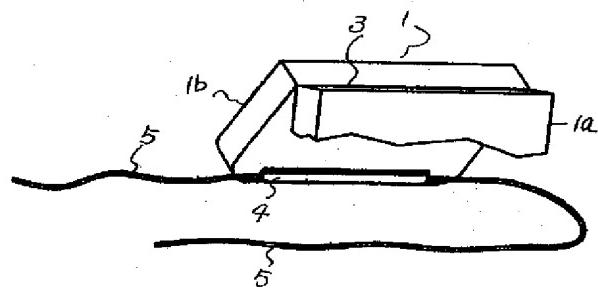


【図4】

(A)



(B)



【図5】

